

3月 未来まちづくり塾～ぷろぐれす～ 開催報告

開催日時：

2014年3月14日（金）19:00～21:00

開催場所：

JUSO Coworking（淀川区十三東1-17-13 水交ビル201号会議室）

参加者数：

7地活協9名

進行：

淀川区まちづくりセンター支部 浜辺アドバイザー、土井支援員

全体の流れ：

- 19:00 JUSO Coworking（十三コワーキング）の紹介
- 19:10 コミュニケーションワーク
 - ・トランプ
 - ・私あなた
 - ・拍手回し
 - ・連想ゲーム
 - ・ワンストーリー
- 19:50 まちづくりラウンドテーブル
「地活協の現状」「防災」「高齢者見守り」等について意見交換
次回以降の「未来まちづくり塾」の開催について
- 21:00 閉会

内容：

前回に引き続き、地活協実務者らが新しい企画のアイデアや地域の困りごとなどを自由に語り合う中で情報の共有と交流を深め、今後の地域活動に活かすきっかけにしていくことを目的に開催。

大阪市長選挙期間中ということもあり、以前淀川区まちづくりセンターがインタビュー調査で訪問した「JUSO Coworking（十三コワーキング）」を会場とした。

・JUSO Coworking の紹介

今回の会場である「JUSO Coworking（十三コワーキング）」について、水交ビル管理者の方が施設の概要について紹介。

「コワーキング」は一つの事務所や会議室を複数の事業者や個人が共有する、アメリカ発祥の新しい働き方。経費削減や利便性だけではなく、様々な分野の人たちが刺激し合い、仕事上の相乗効果も期待できる利点もあり、現在では全国各地に広まってきている。

管理者からは「子育て世代でも働ける場」として JUSO Coworking を開設し、アットホームな空間を提供していることが説明された。

説明後には4階のコワーキングスペース（事務所）も見学。「いつ空いていますか?」「これからはこういうスペースが必要ですね」などと話をしながら、参加者は管理者との親睦を深めた。

・コミュニケーションワーク

土井支援員の進行により、前回同様5種類のゲームを通じてラウンドテーブルで自由な意見を出してもらうための場づくりを行った。

最初のワークは「トランプ」。各参加者はトランプカード1枚を取って額にあて、1～13までの数字順に整列するワークを行った。数字を言わずに並び替えるのがルールであるため、参加者は知恵を絞りながら「あなたは玄関受付」「課長代理!」などと表現を工夫しながらコミュニケーションを取っていた。

2番目は「私あなた」、3番目は「拍手回し」を実施。第3回「コミュニケーション・チームビルディング」や前回にも行っていたことから、参加者は慣れた様子で横にいる相手だけではなく、自由に指す相手を変えることができ、テンポよくゲームが進んだ。

「連想ゲーム」は、2人1組になって目を合わせ、両手を叩きながら、相手の言葉から連想する言葉をつないでいく内容だったが、次の言葉が思い浮かばずタイミングが合わなくなる方もおられた。

5番目にはA・Bの2グループに分かれて円になり、ワンフレーズごとに言葉をつないで物語を完成させていく「ワンストーリー」を実施した。第3回のお題「桃太郎」ではスムーズに進んだが、続いて土井はAグループには「太郎と花子のホワイトデー」、後に続くBグループには「太郎と花子の10年後」というお題を提示。筋書きが決まっていない話であるため、参加者は互いに助け合いながら、一つの物語を完成させていく過程を楽しんだ。

・まちづくりラウンドテーブル

続いて、参加者はテーブルを囲んでお茶を飲みながら意見交換を行った。

冒頭で北中島地域は「地活協になって他地域の方とも交流し、地域の現状について本音で相談できる関係ができてきた。地活協では各団体に毎月の活動報告をしてもらっている。様々な意見もあるが、一人ひとりが報告をすることで各団体の代表として会議に出席しているという自覚が芽生えてきた。北中島まつりを経て地域が一つになりつつある」と紹介。地活協が少しずつ地域に根付いてきていることを全体で共有した。

続いて、防災や高齢者の見守りについて話題となった。

防災では、各地域で津波避難ビルの確保が必要となっており、複数の地活協ではビルオーナーの企業や団体に依頼を進めているが、いざという時の受入側の責任もあって、簡単には広まらないのが現状。

また、そもそも高いビルがなく、逃げる場所が限られている地域もあることから、参加者は地域間の連携や津波避難ビルに協力するオーナーを増やす体制づくりについて認識を深めると共に、連絡網整備など実効性のある地域防災のあり方について、活発な意見が交

わされた。

高齢者見守りで大切なことは、今回のコミュニケーションワークでも行ったような「私あなた」の関係で挨拶を行い、まずはお隣さん同士・班単位でのネットワークにあるという参加者。もちつき大会やお花見、敬老会、住民一斉清掃など地域の年中行事が、実は高齢者の安否確認にもつながっているということについても認識を深めた。

・次回開催について

2013年11月から計6回にわたって開催してきた「未来まちづくり塾」。

最初は緊張していた参加者同士も徐々に打ち解け、今回はコミュニケーションワークを行う前から自然な会話が生まれるまでになった。

しかしながら、4月からは淀川区まちづくりセンターの事業者が変更になるということもあり、今後も継続していくためには参加者が自発的に集まる必要がある。

最後に今後の方向性について話し合ったところ、「地域での役職に囚われず、様々な若い人が寄って集まる場ができれば」「地活協として学校や企業などにイベント協力等をお願いする場面が増えた。1つの団体に依頼が集中すると、依頼を受ける側の負担も大きいので、まとまっていく場が必要」など、前向きな意見が交わされ「チーム淀川」としての集まりを継続していくことが決定。

次回は4月11日（金）19時～21時、淀川区役所5階会議室で開催することとなった。

講座の様子：

